

Ⅰ 学校の概要

(1) 沿革

昭和31年 4月	独立校建設委員会設置 千葉市議会 「千葉市立平山小学校」を可決	平成 9年 3月	校庭全面改修工事終了
昭和33年 4月	千葉市立平山小学校を開校（千葉市立菅田小学校より独立）	4月	千葉市ボランティア活動推進協力校指定
11月	新校舎上棟式	11月	創立40周年記念式典
昭和36年 3月	給食室完成	平成10年 4月	地域ぐるみ教育校推進指定校
昭和37年 9月	観察池完成	平成11年 2月	生活科室の改修工事完成
昭和41年 8月	体育館完成	8月	読書多目的室の完成
昭和42年 11月	創立10周年記念式典	平成12年 10月	プール附属屋改修工事開始
昭和46年 7月	プール完成	12月	校舎外装工事完了
昭和48年 4月	鉄筋4階校舎完成	平成13年 3月	プール附属屋改修工事完了
昭和50年 8月	プール排水工事完成	平成15年 4月	文部科学省指定「地域ぐるみ学校安全モデル事業」指定
昭和53年 2月	体育館増設工事完了 創立20周年記念式典	平成18年 9月	大規模伐採
昭和55年 4月	鉄筋4階校舎増設完成	平成19年 8月	体育館床補修工事完了
7月	新設校舎落成記念式典	12月	創立50周年記念式典
昭和56年 11月	千葉市教育委員会指定「心身障害児教育」	平成20年 4月	千葉市教育委員会研究指定「体育科」
昭和58年 3月	第2観察池完成	11月	千葉県教育功労「学校賞」受賞
昭和60年 3月	体育館と校舎間の渡り廊下完成	平成21年 11月	千葉市教育委員会指定公開研究（体育科）
昭和63年 3月	創立30周年記念式典	平成22年 4月	千葉県教育委員会指定 体づくり推進モデル校
平成元年 4月	千葉市教育委員会指定「緑化推進指定校」	平成24年 3月	体育館耐震工事完了、プレハブ校舎（2教室）完成
平成 2年 11月	千葉市教育功労「学校賞」受賞	平成25年 4月	千葉市環境学習推進校
平成 3年 12月	体育倉庫完成	平成26年 12月	本校舎耐震工事完了
平成 4年 2月	自主公開研究会（道徳）	平成28年 3月	体育館、本校舎外装工事、プレハブ2期工事完了
平成 5年 7月	校門「アコーデオンゲート」完成	平成29年 11月	創立60周年記念祝賀会
平成 7年 9月	校庭「スプリンクラー散水装置」完成	平成31年 3月	プール改装工事完了
11月	ソニー教育振興財団応募論文優良賞受賞	令和 2年 3月	普通教室冷暖房設備完了
平成 8年 3月	コンピュータ室改修工事終了	令和 3年 9月	特別教室冷暖房設備完了
4月	千葉市環境学習モデル校指定幼・小関連教育推進校	令和 4年 3月	太陽光発電設備完了
		令和 5年 2月	本校舎及び屋内運動場トイレ改修工事完了

(2) 在籍児童数 （令和5年5月1日現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	しいの実	合計
男子	30	33	30	38	47	52	5	233
女子	34	32	31	45	40	29	1	214
合計	64	65	61	83	87	81	6	447

2 学校経営の概要

学校教育目標

めざす学校の姿

- ・一人一人を尊重し、個性や可能性を伸ばす学校
- ・誰にも心の居場所があり、明るく楽しい学校
- ・家庭・地域と子供の成長のために連携する開かれた学校
- ・整理された、安全な学校

心豊かで

自ら考え

伸びようとする子ども

挨拶と温かい言葉があふれる学校

めざす教師の姿

- ・子供に寄り添い、理解して、子供に信頼される教師
- ・情熱と探求心をもち、子供とともに成長する教師
- ・協働して、積極的に学校経営に参加する教師

めざす子供の姿

「よく考える子」の育成 (知)

「思いやりがある子」の育成 (徳)

「健康や安全に気を付ける子」の育成 (体)

(1) 授業で勝負

- 伝え合い、高め合う児童主体の学び
- ・児童主体の学習活動の工夫・改善
- ・自分の思いや考えをもてる学習活動
- ・子供同士の話し合いの場の設定(自由に会話ができる安心な学級)
- ・研究を通じた授業スタイルの確立
- 付けたい力、本時のねらいの明確化
- ・児童と目標を共有した授業展開
- ・問題解決的な学習の重視
- ・振り返り活動の重視(自分の変容に気付く指導の工夫)
- ・知的好奇心の喚起
- ・毎朝10分間の帯時間の活用
- (2) 体験活動の充実
- ・本物から学ぶ感動がエネルギー
- ・計画的な外部人材の活用
- (3) ICTの長所を生かした活用
- ・タブレットの長所を生かした、学習内での活用方法の創造と実践
- (4) 個に応じた支援の充実
- ・不登校児童の教育の機会の確保
- ・特別支援学級との交流活動の充実

(1) 学級経営が基盤

- 教師と子供の信頼関係の構築
- ・子供の心や特性を理解し、ほめ、励まし、自己肯定感・自己有用感・所属感を高める学級経営
- 子供同士の好ましい人間関係の確立
- ・相手を思いやり、互いのよさを認め合い、よりよい関係を築く
- ・不登校気味な児童との関係構築と支援
- (2) 特別活動の充実(児童会活動の推進)
- 憧れられる高学年
- ・全校児童で作り上げる平山小
- ・児童会・代表委員会・なかよし活動・清掃活動で活躍する高学年
- 規範意識の育成
- ・自己判断をして行動できる児童
- ・挨拶・返事・言葉遣い・時間を守る
- (3) 多様な人とのかかわり合い
- ・たてわり活動、幼保小・小中連携
- ・聾学校や地域の方との交流
- (4) 道徳教育の充実
- ・道徳科を核に教育活動全体で推進
- ・考え、議論する授業への工夫改善

(1) 危険予知能力の育成

- 安全教育の充実
- ・場面ごとの安全指導の確立
- ・保護者・地域との連携
- 自分の命は自分で守る教育
- ・疾病(特に感染症)の予防
- ・交通事故や校内事故の未然防止
- (2) 体育・食育の充実
- ・体力づくりの日常化
- ・運動量を確保した授業
- ・食育における栄養教職員との連携と給食指導の充実
- ・養護教諭との連携による保健指導と健康的で安全な生活習慣の育成
- (3) 衛生的で安心安全な環境づくり
- ・清掃時間を大切にきれいな学校に喜びを感じる児童の育成(黙働)
- ・施設の安全・食の安全・精神的な心の安全(児童も教職員も)

☆家庭との連携

- ・子供との信頼関係をもとに、保護者との関係を築いていく

☆地域との連携

- ・平山小の子は地域で育てる

3 教育課程の概要

学習指導要領及び千葉市学校教育推進計画を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、豊かな創造性を備え持続可能な社会の作り手となる児童に「生きる力」を育むことを目指す。

「よく考える子」の育成

- ① 学習指導の充実……………○学び方・考え方が身に付く学習に心がけ、あきらめない心を育む。
- ② 体験活動の充実……………○本校の特色を生かした体験的学習を意図的・計画的に位置づけ、児童の興味・関心を踏まえた学習計画を立て、実践・評価する。
- ③ 表現活動の充実……………○自分の思いを適切な言葉で表現できる子供の育成をめざす。

「思いやりがある子」の育成

- ① 学級経営の充実……………○子供との信頼関係を築き、学級経営を教育活動の基盤とする。
○共通理解のもと、全校が同一歩調で生徒指導に当たっていく。
○生活目標をクラスで具体化し、主体的な生活向上を図る。
- ② 道徳指導の充実……………○道徳科の時間を確保し、心優しい子供の育成をめざす。
○一人一人の人権を尊重できる子供の育成をめざす。
- ③ 特別活動の充実……………○委員会活動やクラブ活動、なかよし班活動を通して異学年交流を図るとともに、自発的・自主的な活動ができるようにする。
○聾学校や地域の施設等と積極的に交流を図る。
○生活科や総合的な学習の時間などを通して、地域の方々との交流を図り、豊かな心を育てる。

「健康や安全に気を付ける子」の育成

- ① 安全教育の充実……………○交通事故や校内事故の未然防止に取り組む。
- ② 健康教育・食育の充実……………○個人の力を伸ばすよう、独自のカリキュラムを作り、体力づくりをする。食の大切さについて計画的な指導をする。食育の実践(栄養教職員との連携学習の充実)を進める。
- ③ 保健指導の充実……………○疾病予防のため、手洗い、うがい、歯磨きタイムの習慣化を図る。

4 本年度の研究

「わかる」「できる」を実感し、主体的に学ぶ子供の育成
～ 算数科における 考えをつなぐ 比較検討 を通して～

視点1 考えをつなげるために「自分の考えをもてる」ような工夫をする

視点2 考えをつなげるために「比較検討の場(つなぐ言葉)」を工夫する

5 学区案内図

